

あかつきとの出会い

松崎 一代

溝上ことゑが、あかつき老人ホームにお世話になった日々を懐かしく思い出されます。

細い細い林道を通り抜け、ホームにやって来た時、花と緑の素晴らしいさに感動し喜びを感じました。施設の中もお花がいっぱいで、職員の方々の心を表しているように思いました。

たくさんの笑顔をみたくて希望を持って選んだ場所でした。

どんなに忙しくても職員の方々の笑顔での挨拶は気持ちよく、元気付けられました。

餅つきの時の様子を職員さんから嬉しそうに伝えられたのは、普段、私達の前では、見られないお婆ちゃんの一面を知ったよううれしかったです。

寅さんの映画を見た時、無口なお婆ちゃんが「人はあであなければいけない」と私に言ったこと。

寝たきりから車椅子に乗り、皆と食事を取れたこと。トイレに行けるようになったこと他。これらの全てを私達、家族は、どれ程、喜び感謝したことでしょう。

そして百四歳で亡くなりましたが、職員の皆さんがチャペルを大掃除し、多くの方々に見送られ、心のこもった素晴らしいお別れをして頂き、本当にありがとうございます。施設長の野津さんのいろんな苦勞、指導のも

とに素晴らしい職員が育ってこられたんだと確信します。四十周年を迎えられたこと心より喜んでいきます。おめでとうございます。